

気象災害に 備える 未然防止対策



栃木県

～近年気象災害が多発しています。その未然防止に向けて気象情報の収集と事前対策を徹底しましょう！～

凍霜害

⚠ 4月～5月中旬 (果樹・茶・桑)

- ◆ 3月31日～5月14日は夕方に発表される霜注意報に留意!
- ◆ 防霜ファン、燃烧資材や多目的防災網を合わせて活用 (果樹)
- ※ 降ひょう害対策のため、開花前の4月上旬を目処に多目的防災網を展張
- ◆ 燃烧資材の活用 (茶・桑)

<p>- 2.5℃以下</p> <p>【防霜ファン+多目的防災網+燃烧资材】</p> <p>※必要に応じ燃烧资材の設置数を増やす</p>	<p>- 1.0℃～- 2.5℃</p> <p>【燃烧资材】燃烧 (効果を高めるため)</p> <p>【防霜ファン】稼働又は【多目的防災網】展張</p>	<p>- 1.0℃以上</p> <p>【防霜ファン】稼働又は【燃烧资材】燃烧</p>
<p>予想最低気温別の対策 (なし開花期: 危険限界温度-1.5度)</p>		<p>栃木県農業試験場</p>

高温少雨

⚠ 7月～9月 (水稻・大豆・園芸)

- ◆ 初発時期からの害虫防除
- ◆ 早朝を中心にかん水 (園芸)
- ◆ 遮光資材の活用 (施設園芸)
- ◆ 出穂～20日間は間断かん水 (夜間入水) (水稻)
- ◆ 開花期～莢伸長期はうね間かん水 (大豆)



高温乾燥によるハダニ被害 (なし)

低温長雨

⚠ 4月中旬～6月 (麦)
⚠ 6月～8月 (水稻・大豆・園芸)

- ◆ 初発時期からの病害防除
- ◆ 明きよの設置、点検 (園芸・麦・大豆)
- ◆ 適期収穫 (麦)
- ◆ 深水管理 (7月が低温の場合の水稻早植え栽培)

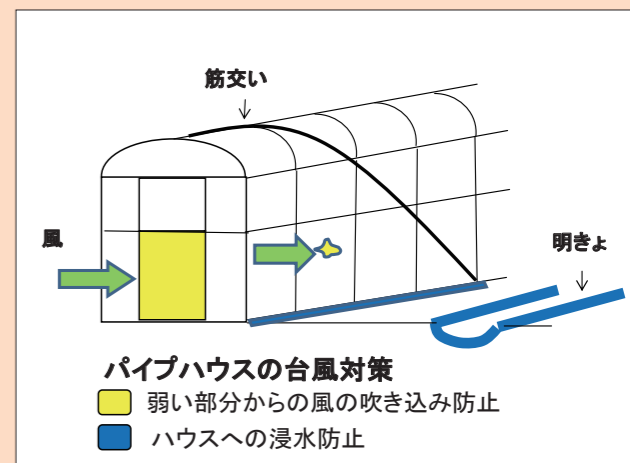


低温長雨によるいもち病被害 (水稻)

台風

⚠ 初夏～秋 (施設園芸)

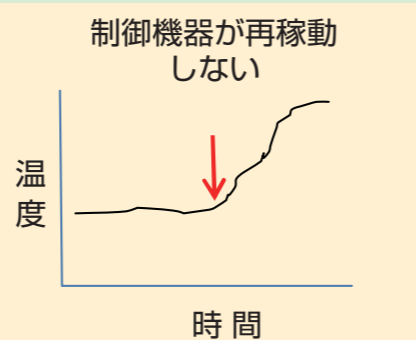
- ◆ 風の吹き込み防止 (ドア、天窗の固定、破損部の補修、取り付け金具の締め直し、バンドの固定)
- ◆ 筋交い等による補強、ブレースの点検
- ◆ ハウスへの浸水防止 (明きよの点検、裾フィルムの土への埋めこみ)
- ◆ ハウス周辺の整理 (飛来物等)



停電

⚠ 施設園芸

- ◆ 発電機の準備と定期的な試運転、燃料の確認
- ◆ 手動による換気、かん水 (夏期)
- ◆ サイドカーテン等による保温 (冬期)
- ◆ 通電後は、マイコン制御機器等の作動確認



制御機器が再稼働せず、天窗が開かないためにハウス内の温度が上昇した事例

大雪

⚠ 12月～3月 (施設園芸)

- ◆ 台風対策に準じた補修・補強
- ◆ 水平梁や支柱等による補強 ◆ 燃料の補充
- ◆ 雨樋の点検と基礎の強化 (連棟ハウス)
- ◆ カーテン開放による融雪 (加温機がある場合)
- ◆ 雪おろし実施
- ◆ 被覆資材撤去 (作物が無い場合)



このハウスは温度が確保され、水平梁も有していたので大雪の被害を免れた

各種気象情報は気象庁HP

全般気象情報

検索

栃木県防災メールに登録すれば気象警報・注意報がメール配信されます。

栃木県防災メール

検索

栃木県公式HPに農作物気象災害の事前・事後対策が掲載されています。

農作物気象災害

検索

お問い合わせは栃木県農政部経営技術課技術指導班 ☎028-623-2322



気象庁のQRコード



栃木県防災メールへの仮登録QRコード



県の農作物気象災害技術対策QRコード

気象災害に 備える 未然防止対策

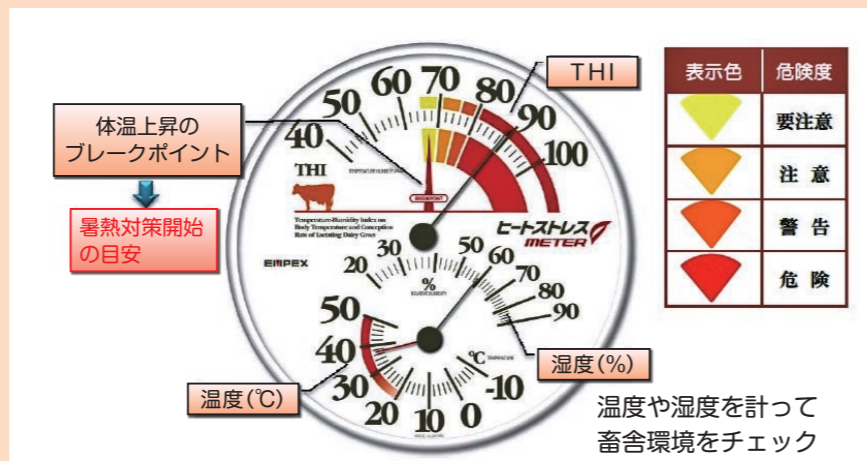


～近年気象災害が多発しています。その未然防止に向けて気象情報の収集と事前対策を徹底しましょう！～ 栃木県

暑熱

⚠ 5月～9月（家畜全般）

- ◆直射日光の差し込み防止（寒冷紗、遮光ネット、よしず、グリーンカーテン等の活用）
- ◆送風や細霧による家畜の冷却
送風は畜舎内を流れ、家畜に当たるよう留意
- ◆屋根への石灰塗布や散水
- ◆朝夕の涼しい時間帯に飼料給与
- ◆きれいな冷水が十分飲めるよう
水槽やウォーターカップの保全
- ◆肩～背の毛刈り



停電

⚠ 酪農他

- ◆発電機の準備と定期的な試運転、
燃料の確認
- ◆長期停電の場合、搾乳牛は給水制限、濃厚飼料の給与休止
手搾りは、泌乳前期牛を優先
ミルカー等の洗浄・殺菌
- ◆通電後は、マイコン制御機器等の作動確認



トラクターのPTOを利用する発電機

台風

⚠ 初夏～秋（飼料作物・畜舎等）

- ◆畜舎のカーテン、軒、乾燥ハウス等、風であられる可能性のある施設の固定・補強、破損部の補修
- ◆施設周辺の整理（飛来物等）
- ◆とうもろこし畑の排水路の確保、耐倒伏性品種の選定
- ◆畜舎が冠水した場合、清掃後消毒の実施
- ◆倒伏したとうもろこしは天候回復後早めに収穫
（高刈り、土が多量についた部分は収穫しない）



強風で倒伏した飼料用とうもろこし

大雪

⚠ 12月～3月
（乾燥ハウス等）

- ◆台風対策に準じた補強・補修
- ◆水平梁や支柱等による補強
- ◆雪おろし実施
- ◆集乳車の進入路の除雪



降雪被害を受けた乾燥ハウス

各種気象情報は気象庁HP

全般気象情報

検索

栃木県防災メールに登録すれば気象警報・注意報がメール配信されます。

栃木県防災メール

検索

栃木県公式HPに農作物気象災害の事前・事後対策が掲載されています。

農作物気象災害

検索

お問い合わせは栃木県農政部経営技術課技術指導班 ☎028-623-2322



気象庁のQRコード



栃木県防災メールへの
仮登録QRコード



県の農作物気象災害
技術対策QRコード